

演題「口腔内スキャナと3Dプリンターを利用した モデルフリー・パーシャルデンチャーの製作方法と活用法」

Denture staff 佐藤 哲也

口腔内スキャナの登場により私たちは遅かれ早かれ口腔内スキャナへの対応が求められます。実際にモデルフリーでも様々な補綴物の製作が可能になり、C&Bや総義歯はモデルフリーになりました。では、パーシャルデンチャーはどうでしょうか？

「日本のアナログ技工は世界一だ。」と聞いたことがあります。一方で「日本のデジタル歯科産業は世界的に見ると10年遅れている。」と聞いたことがあります。健康保険制度の不備や設備機器の高額化等にともない、日本では普及・技術発展しにくい環境であることも一因なのかもしれません。特に義歯の分野においてデジタル化が進んでいないように感じています。

そこで今回は、デンチャーワークに口腔内スキャナやCAD/CAMを導入する事のメリットとリスクマネジメントについて実体験をもとにお話ししたいと思います。また口腔内スキャナの国内での普及を想定し、世界に先駆けてモデルフリーでのパーシャルデンチャーを製作する方法をいくつかご紹介いたします。

さらに、クラウドネットワーク (www.cad-cam-network.com) の活用方法もご紹介いたします。

モデルフリー・パーシャルデンチャーで歯科業界が変わります。

皆様の口腔内スキャナやCAD/CAM導入のヒントになれば幸いです。